



伊豆の国市立葦山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

# 葦中だより

住所:伊豆の国市葦山393

電話番号: 055-949-1061

令和元年7月17日発行

第19号

## 命の重み、そして生きるということ～腰塚勇人先生講演より～ 葦山中学校長 手島雅恵

7/8(月)に学校保健委員会を実施し、その中で全国各地で「命の授業」を行っている腰塚勇人先生をお迎えし、ご講演いただきました。

腰塚先生は1965年生まれ、元中学校教師です。ある日、先生はスキー事故で大けがをし、一生寝たきり生活を宣告されます。絶望の中で心の葛藤を繰り返します。そんな先生がようやく命に向き合う行動を始めたころ、少しずつ手足が動き始めるという奇跡が起りました。そして、4ヶ月後には再び教壇に立つことができたのです。先生は言います。「自分の周りには絶望を希望に変えてくれた本当にたくさんの人たちがいました。自分の命は自分だけのものではない、多くの人たちが支えてきてくれたから、ここにあるのです」と。先生の姿から、一つ一つの経験に基づいた言葉から私たちはたくさんの勇気をいただきました。そして、自分のために人のために『ドリー夢メーカー』でありたいと思いました。先生が教えてくださった「五つの誓い」をきちんと実践できる人に、誰もがなるべきだと感じました。

腰塚先生との出会いは様々な悩みを抱えている子供たち一人一人にとって自分自身の中で何かを変えていくきっかけになったのではないのでしょうか。「『夢があれば困難あり、困難あれば仲間あり、仲間あれば感動あり』が学校という場にあります」という先生の言葉の通り、葦山中が生徒にとっても先生方にとってもいっばいの感動が持てる場になるように努力し続けていきます。以下は子供たちの感想です。

☆僕は今日、初めて命についてしっかり考えました。先生が教えてくれた「五つの誓い」はすごい言葉です。自分自身の体の使い方を改めて知ることができ、しっかり健康な体に生まれたことを良かったと思いました。自分の周りにいるドリー夢メーカー感謝しながら、自分自身から「幸動(こうどう)」できるようにしたいです。(3年山下寛人さん)

☆反抗してもそばで支えてくれる家族の存在、いつでも一緒にいてくれる親友、クラスメートの存在、どんな時でも正しい方へ導いてくれる先生方の存在は決して当たり前ではありません。そんなドリー夢メーカーをいつまでも大切にしたいと思いました。世界で一番大切な自分の命を傷つけないように、失わないように精一杯生きていきたいです。自分を見失って傷ついている友達をたくさん励まして「一緒に頑張ろう」と手を差し伸べられるような人になりたいです。(1年坂本梨華さん)

### 五つの誓い(命の授業より)

- 「口」は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- 「耳」は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- 「目」は人の良いところを見るために使おう
- 「心」は人の痛みがわかるために使おう
- 「手足」は人を助けるために使おう



講演の前にハートマッスル「リラクゼーション」について活動も入れながら学びました。





## あなたたちは輝いていました！～中体連夏季大会特集②～

7/15の中体連夏季野球大会決勝戦で田方地区大会が終わりました。すべての競技において、全力で立ち向かっていく子供たちの姿は本当に輝いていました。劣勢に立たされたときに、誰かが駆け寄り、「大丈夫！焦るな！一つずつ丁寧に！みんながついている！次だよ、取り返せばいいよ！」と声を掛けていました。とてもいい光景でした。子供たちは励まし合う仲間の存在の大きさ、絆を感じ取ったことでしょう。そこからまた力をもらって奮起し、最後まで闘い続けていた姿も素敵でした。

また、たくさんの人たちが子供たちのために一生懸命、応援してくれました。保護者の皆さんは「子供に楽しませてもらっています」とおっしゃいます。それもまたいい言葉ですね。改めて子供たちのために応援いただきありがとうございます。

県大会に出場する子供たちには韮中生として田方地区の代表として精一杯頑張ってきてほしいです。



野球



保護者や地域の方々、友達など、プレーを見ながら喜んで、ドキドキしたりと大忙し！



バスケットボール



ソフトボール



テニス



下の写真は「青雲祭体育の部種目責任者会議」の様子です。種目責任者が担当種目について競技図を使って用具や競技方法、ルール等を説明していきま。そして、それぞれの係から種目責任者に対して質問しながら、競技が円滑かつ公正に行えるよう熱心に話し合いました。青雲祭体育の部はこうした生徒たち自身の主体性によってつくられています。



保護者の方からのご意見・感想  
( )年( )組( )  
(生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。